

発売から1周年のベストセラー『ビリギャル』
累計発行60万部突破 & 2015年GW映画公開決定！

《『ビリギャル』の次は『ビリママ』！》
母とギャル本人が語る、もうひとつの『ビリギャル』ストーリー

ダメ親と呼ばれても 学年ビリの子どもたちを 慶應上智に合格させた母の話

ああちゃん、さやか（ビリギャル）・著

2015年2月27日 発売予定

「信じぬく勇氣」の物語。

あなたの家族にも奇跡を起こす、目からウロコの子育て法！

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹、ブランドカンパニー長：塚田正晃、以下アスキー・メディアワークス）では、2014年の各種年間ベストセラーランキングで上位にランクインし、日経MJが発表する2014年の「ヒット商品番付」にもランクインした笑って泣ける感動の実話小説『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』（坪田信貴・著、以下『ビリギャル』）を発行しています。このたび、ビリギャルの母・ああちゃんとビリギャル・さやかちゃんが語る、もうひとつのビリギャルストーリー『ダメ親と呼ばれても学年ビリの子どもたちを慶應上智に合格させた母の話』（ああちゃん、さやか（ビリギャル）・著、略称『ビリママ』）の発売が決定しましたので、お知らせいたします。発売は2015年2月27日（金）を予定しています。

“呪われた家族”とまで呼ばれた崩壊寸前の家庭。憎しみと苦しみにあえいでいた日々の中で、ビリギャル・さやかちゃんの母・ああちゃんは、どんな信念を育てたのか。本書は、学年ビリの成績から短期間で慶應義塾大学、上智大学に姉妹を合格させた母による、爆発的に伸びる子どもを育てるための感動ノンフィクション物語です。家族の真の幸福とは何か？ あなたの家族にも奇跡を起こす目からウロコの「気づき」が満載です。『ビリギャル』著者・坪田信貴氏による推薦&解説文付きの1冊となります。

『ビリギャル』は、2013年12月27日の発売以来幅広い層の読者の感動を呼び、テレビ・新聞・雑誌・ウェブなど各種メディアに多数取り上げられました。発売から約1年となった2014年12月26日現在、『ビリギャル』の累計発行部数は60万部に達しています。また、女優・有村架純（ありむら・かすみ）主演、監督・土井裕泰、脚本・橋本裕志で映画化も決定しており、2015年5月1日ゴールデンウィークの公開を予定しています。

さまざまな展開を見せる『ビリギャル』と、もうひとつのビリギャルストーリー『ダメ親と呼ばれても学年ビリの子どもたちを慶應上智に合格させた母の話』（ビリママ）にご注目ください。

「叱って、叩いては後悔する失敗だらけの子育て。
長年の夫婦のいがみあい、すさんだ家族。
それが、どうして大逆転できたのか。
苦しみの中でつかんだ子育て法をお伝えします」

【書名】 ダメ親と呼ばれても学年ビリの子どもたちを慶應上智に合格させた母の話

【著者】 ああちゃん、さやか（ビリギャル）

【書店発売日】 2015年2月27日（金）（予定）

【発行】 株式会社KADOKAWA 【プロデュース】 アスキー・メディアワークス

《 主な登場人物 》

ああちゃん

本書メイン著者。大阪府出身のお母さん。その生い立ちから、熱い子育て論を持つ。
夫との不和と生活苦のなか、子育てをしてきた。

さやか

長女。本書共著者。高2の夏まで偏差値30、学年ビリのギャルだったが1年半で慶應義塾大学に合格。ビリギャルとしても有名。

長男

さよかの2歳下の弟。幼児の頃はきかん坊だったが、その後、パパに野球のスパルタ教育を受け、挫折して、自暴自棄に。今は経営者を目指す。

まーちゃん

次女。さよかの6歳下の妹にして末っ子。幼い頃、体が弱く、不登校気味で、やはり成績は学年ビリだったが、その後、上智大学に合格。

パパ

名古屋出身の夫。スポーツ万能。さやか誕生後、脱サラして経営者に。家庭内では孤立し、家族に怒鳴るなど、つらく当たりがちだった。

坪田信貴先生

さよかを1年半で慶應義塾大学合格へ導いた塾講師にして、『ビリギャル』著者。1,300人以上を塾で個別指導し、その多くの偏差値を1年で20~40上げてきた、心理学を活かした指導に定評。

《 著者プロフィール 》

ああちゃん（メイン著者）

ビリギャルさよかの母親。大阪府出身。自身の幼少期のつらい経験により、独自の熱い子育て論を持つ。1987年に結婚した名古屋出身の夫とは、価値観の相違から不仲の時代が長く、家庭内は冷えきっていた。意地になった夫から生活費もほとんどもらえず、その間、パートをしながら、ずっとひとりで子育てをしてきたが、さよかの慶應義塾大学合格などをきっかけに、夫婦仲にも少しずつ変化が現われる。その後、妹も学年ビリから上智大学に合格。野球の道で挫折し、一時、自暴自棄になっていた息子は、父親の跡を継ぎ、経営者になるべく修行を始めた。今では、お互いの価値観を認めるようになった夫との仲も良好になり、二人で旅行に行くことも。

さやか（ビリギャル／共著者）

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』（坪田信貴・著）の主人公＝ビリギャル。1988年3月生まれ。中学、高校で学年ビリの成績を経験し、高2の夏に小学4年レベルの学力しかなかった。当時の全国模試の偏差値は30弱。中学時代は素行不良を理由に何度も停学になり、学校の校長に「人間のクズ」と呼ばれたことも。塾講師・坪田信貴氏との出会いを機に、1年半での日本最難関レベルの私大、慶應義塾大学の現役合格を目指すことになる。結果、1年で偏差値を40上げて、複数の難関大学のほか、慶應義塾大学に現役で合格を果たした。その後、ウェディングプランナーとして活躍し、2014年に結婚。

■関連書『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』の

概要・目次

書名： 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話

著者： 坪田信貴

判型： 四六判

ページ数： 320ページ

定価： 本体1,500円＋税

ISBN： 978-4-04-891983-8

発行： 株式会社KADOKAWA

プロデュース： アスキー・メディアワークス

書店発売日： 2013年12月27日（金）

公式サイト： <http://birigal.jp/>

《 目次 》

- 第一章 金髪ギャルさやかちゃんとの出会い
- 第二章 どん底の家庭事情、批判にさらされた母の信念
- 第三章 始まった受験勉強、続出する珍回答
- 第四章 さやかちゃんを導いた心理学テクニックと教育メソッド
- 第五章 見えてきた高い壁

——「やっぱり慶應は無理なんじゃないかな」

第六章 偏差値30だったギャル、いよいよ慶應受験へ

第七章 合格発表と、つながった家族

あとがき

さやかちゃんからの手紙

巻末付録 坪田式人材育成のためのテクニック

《 『ビリギャル』 2014年年間ベストセラー ランクイン実績 》

- ・日販調べ： 総合 第4位、単行本ノンフィクション 第2位（集計期間： 2013年12月1日～2014年11月26日）
- ・トーハン調べ： 総合 第7位、単行本ノンフィクション・教養書他 第4位
（集計期間： 2013年12月1日～2014年11月26日）
- ・オリコン調べ(oricon.co.jp)： BOOK総合 第5位（集計期間： 2013年11月18日～2014年11月16日）
- ・日経MJ 2014年ヒット商品番付 西前頭ランクイン

《 その他 》

- ・第49回 新風賞受賞

《 著者プロフィール 》

坪田 信貴（つぼた・のぶたか）



坪田塾 塾長。これまでに1,300人以上の子どもたちを個別指導し、心理学を駆使した学習法により、多くの生徒の偏差値を短期間で急激に上げることで定評がある。「地頭が悪い子などいない。ただ、学習進度が遅れているだけ。なので、遅れた地点からやり直せば、低偏差値の子でも1～2年で有名大学、難関大学への合格は可能となる」という信念のもと、学生の学力の全体的な底上げを目指す。「受験だけでなく、人生を成功させねば意味が無い」というモットーから、教え子とは一生の交流になり、結婚式に呼ばれる事も多い。年齢などは「無用なラベリングをして他人を評価しがちな日本の風土を変えたい」ため、あえて非公開。マンガやテレビゲームが大好きで、妻とサッカーゲームで対戦するのが趣味。座右の銘は、「明日できることは今日するな。棚からぼたもち。あわてないあわてない、ひと休みひと休み」。



↑ 表紙画像

映画『ビリギャル』

【主演】 有村架純

【監督】 土井裕泰（『いま、会いにゆきます』『涙そうそう』『ハナミズキ』ほか）

【脚本】 橋本裕志（『テルマエ・ロマエⅡ』ドラマ『ウォーターボーイズ』シリーズほか）

※2015年5月1日GW 全国ロードショー

<ご参考>

■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のiらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
事業推進局
<http://asciimw.jp/>